

ACCESS My Class

アクセス マイクラス

番外編

福原放課後児童クラブ

1～5年生31人



先生からの

ひとこと

代表 横澤 敏美先生
指導員 西塚 瑞葉先生

7年目を迎えた福原放課後児童クラブは31人のお友だちが元気に通っています。4月から人数が増えとてもにぎやかになりました。1日1日を大切に楽しく過ごし、素敵な思い出を作っていました。

「みんなで遊ぶと楽しいね」
福原放課後児童クラブは、福原小学校の1～5年生31人が在籍しています。
子ども達は学校内の児童クラブの部屋で遊ぶなど元気に過ごしています。午前中は勉強タイム。春休みの宿題を黙々とこなしていきます。ご飯を食べて午後からは体育館で思い切り身体を動かして遊んでいます。
クラブでは、オセロ、トランプ、リングの立体パズルが流行っており、子ども達は家にもおもちゃや本があるから楽しいと話していました。

首都圏だより

Letter from Metropolitan Area

偶然の出会い

記録的な暖冬だった今年、故郷尾花沢に雪がなかったとお聞きしました。さらには新型コロナウイルスの影響で東京オリンピック・パラリンピックも延期になることが決定的な状況です。1日も早く終息し普通の生活に戻れることを願うばかりです。



首都圏尾花沢会副理事長
伊藤和弘さん
東京都板橋区(行沢出身)

先日高校の同期生が都内でやっている焼鳥屋にお邪魔したところ、店長に「今日来ているアルバイトの子は尾花沢出身だよ」と紹介されました。話をしたところ寺内の出身で大学進学の為上京し勉学に励んでいるとの事でした。「首都圏尾花沢会」の事は知らなかったそうです。やはり若い方には存在自体が知られていなかったと改めて実感しました。

首都圏尾花沢会も発足から40年を迎えようとしています。故郷とのつながりを大切にしながら若い方にも参加してもらえような会にしていきたいと思えます。首都圏にお住いの尾花沢出身の方をぜひご紹介いただけるよう、よろしくお願いたします。



地域おこし協力隊

奮闘記

Face book ▶

尾花沢の魅力や地域おこし協力隊の活動報告を日々更新しています。ぜひご覧ください。



▲お世話になりました！

こんにちは、元地域おこし協力隊の松澤望です。突然ですが、自分は、今年の3月をもって協力隊を卒業しました。

というのも、自分は、この1年を通じて多くの方と知り合い、話を伺い、作業に携わらせていただくうちに、自分自身の責任で作物を栽培し、生計を立てたいと思うようになりました。それゆえ、協力隊を1年で卒業することにしたのです。

4月からは、尾花沢市の制度を使って「農業研修生」となり、北郷ですいか栽培を学ばせていただくことにしました。さらに2年後には尾花沢で農家として独立する予定です。

改めてこの1年、自分に関わってくれたすべての方々に感謝の気持ちを申し上げます。

本当にありがとうございました。

一から農家になるのは決して簡単なことではないと覚悟しておりますが、立派な尾花沢すいか生産者の一端となるように精進しますので、尾花沢市に住む皆様、改めて、これからもよろしくお願いたします。

協力隊卒業！
そして就農へ



松澤隊員

雪ごろう通信



現役高校生が考える 尾花沢のLGBT問題

「どこに住んでいても自分らしく生きられる社会」をテーマにLGBTについて研究している現役高校生齊藤すみれさんにお話を伺ってきました。伺ってきた内容は以下の通りです。

そもそもLGBTとは、レズ(女性の同性愛者)、ゲイ(男性の同性愛者)、バイセクシュアル(両性愛者)、トランスジェンダー(心と体の性別が違う人)の総称。日本のLGBTの人の割合が実は人口の8・9%もいることを知らない方は非常に多いのではないのでしょうか。

多様な性への偏見やLGBTについて知ろうとしない人がいるために「言いたくても言えない」現象が尾花沢でも起こっており、すみれさんはこの状況を何とかしたいと研究を始めたそうです。

市内の中学生を対象としたアンケートでは、LGBTの言葉の意味を知る人は43%と全体の半分を下回りました。尾花沢ではまだ言葉が浸透し

ていないのが現状です。

「都会であっても尾花沢であっても、全ての人が自分らしく自由に生きる権利がある。」と強く語るすみれさんは、この問題を解決するためにはまず知る事が大事と力説します。

「LGBTの差別や偏見を解消するには、まずは知ることです。多様な性について考え、差別に当たる習慣や常識がないか点検し、一人一人が変えていく必要があります。そうして理解者を増やしていくことで問題は徐々に解決されていくのではないかと思えます。」

すみれさんが令和元年夏に悠美館で行ったLGBTの広報活動には、市民の方から様々な意見が寄せられました。「尾花沢のようなんびりした田舎で性的マイノリティになるのはなかなか」と、問題の明るい側面を見出している姿が印象的でした。

